「社会共生実習」とは、龍谷大学社会学部の
全３学科が共同運営する地域連携型の実習です。

STUDENT × COMMUNITY

■社会
共生■
■実習

「地域エンパワねっと・大津中央」の活動風景

龍谷大学 社会共生実習ニューズレター

Infinity Vol.19

～大学と地域の協働力は無限大∞ ～

2025.06.24 発行

発行元
龍谷大学 社会学部
社会共生実習サポートデスク

〒612-8577
京都市伏見区深草塚本町67
龍谷大学 社会学部教務課
社会共生実習サポートデスク
TEL:075-585-7672
FAX:075-585-6377
E-mail:co-ex@ad.ryukoku.ac.jp

2025年度 プロジェクト活動開始

地域エンパワねっと・大津中央（担当教員：脇田　健一）

この実習では、滋賀県大津市の中心市街地にある中央学区の住民の皆さまとのコラボを通じて、地域活性化に取り組みます。課題を地域住民とともに学生自身が見つけ出し、その課題解決に向けて活動します。

それらの学びをもとに、5/18（日）に「大津市中央学区」に赴き、実際にまち歩きをおこないました。まち歩きでは、要所で担当教員による解説がなされました。

今回のまち歩きが今年度の受講生たちの活動にどのように影響するのか、今後の展開を見守りたいと思います。

農福連携で地域をつなぐ―
「地域で誰もがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」（担当教員：坂本清彦）

この実習では、受講生たちが実習先滋賀県栗東市のNPO「縁活」で障がい者が農業で働く農福連携を通じた地域づくりを実地に経験しています。受講生たちは、「縁活」が運営する農福連携事業「おもや」の農園でトマトの誘引作業やジャガイモの収穫をお手伝いしたり、おもやの方々と一緒に地元の神社の朝市で地域住民と交流するなどの活動を行ってきました。

今後も、季節ごとの農作業のお手伝いに加えて、おもやでの交流活動の企画、おもやの農産物や加工品のマルシェ販売などを行う予定です。

お寺の可能性を引き出そう！
ー社会におけるお寺の役割を考えるー（担当教員：猪瀬優理・古荘匡義）

この実習では、お寺の社会活動に参加しながら、地域におけるお寺の役割と可能性を考えます。5/17（土）には、本願寺に伺い、齋藤英明さん（浄土真宗本願寺派 教化部 部長）に、現代社会において浄土真宗本願寺派の置かれている状況をふまえながら、「ご縁づくり」に対する本願寺派の考え方や教化部の具体的な取り組みについてご講演いただきました。講演後は、畑中阿難さん（浄土真宗本願寺派 教化部 事務職員）に、一目では見落としてしまいそうな面白いポイントをたくさん教えていただきながら、本願寺の貴重な文化財を特別にご案内いただきました。

障がいがある子どもたちの放課後支援（担当教員：土田美世子）

当該実習では、障がいがある子どもの原画での実習を通じて、障がい児支援や共生社会のありかたについて学びます。

4/18（金）には、実習受け入れ先である“放課後等デイサービスゆにこ神領・ゆにこ神領重心”（以下、“ゆにこ”）にて、増田裕介さん（代表取締役）からオリエンテーションを受けました。

今年度は５月の連休明けからそれぞれの担当する子どもたちと関わらせていただきながら学んでいきます。その関わりの集大成として、7/5（土）に受講生考案のイベントを企画しアウトプットする予定です。

コミュニティの情報発信！レク龍プロジェクト（担当教員：久保和之）

滋賀県レクリエーション協会の広報活動について、広報誌の編集発行作業・ホームページの管理運営などの仕組みや内容を学ぶとともに、現状の問題点を探り、解決に向けて企画・運営していきます。

5月6日（祝）には、実習受け入れ先の滋賀県レクリエーション協会の理事・評議員会に参加し、地域団体の事業や制度について学びました。そこでは、フライングディスクやキンボールスポーツなどなじみのないスポーツの存在を知り、実習で進めていく広報活動に必要な情報収集の重要性に気づきました。実際に広報誌の編集も経験し、さらなる広報活動の充実に向けて実習を進めていきます。

Webサイト・SNS では
最新の情報を随時更新中♪

社会共生実習
Webサイト

社会共生実習
X(Twitter)

社会共生実習
Instagram

社会共生実習
Facebook